

小平市特定事業主行動計画「HAPPYこだいら」の概要

1 計画策定の目的

働き方の改革を進め、仕事と家庭を両立することができる環境を整備することで、職員が、その個性と能力を十分に発揮することができる社会への実現の一翼を担うことを目的とする。

2 計画の位置付け

次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、国の行動計画策定指針を踏まえ、本計画を策定した。

なお、職員や市民等にとって分かりやすくするため、個別に策定していた2つの計画（「HAPPYこだいら」と「HAPPYこだいら～女性活躍編～」）を1つに統合している。

3 計画の対象期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間

4 計画の策定体制

小平市特定事業主行動計画策定等検討委員会（13人）・調査研究部会（10人）による検討、全職員を対象にしたアンケート調査を実施した。

5 計画の概要

(1) 重点項目

- ① 働き方の改革
- ② 職業生活と家庭生活の両立の推進
- ③ 女性がより意欲的に働くことができる職場環境の整備

(2) 数値目標

育児参加休暇の取得率及び休暇制度全般の認知度について、新たに数値目標を設定したほか、年次休暇の平均取得日数及び男性の育児休業の取得率を前回の計画の数値目標から変更をした。

目標指標①		令和元年度	令和7年度
年次休暇の取得促進	平均取得日数	12.7日	14日以上
目標指標②		令和元年度	令和7年度
時間外勤務の縮減	1人当たり 年間実施時間	169時間	139時間以下
目標指標③		令和2年度	令和7年度
「HAPPYこだいら」	認知度	約85%	100%
「仕事と子育てガイドブック」		約89%	
目標指標④		令和2年度	令和7年度
子育てに関する制度	認知度	約87%	100%
休暇制度全般		約86%	
目標指標⑤		令和元年度	令和7年度
出産介護休暇及び 育児参加休暇の取得促進	出産介護休暇の 取得率	87.5%	100%
	育児参加休暇の 取得率	35.0%	
目標指標⑥		令和元年度	令和7年度
男性の育児休業の取得促進	取得率	5.0%	30%

目標指標⑦		令和2年度	令和7年度まで毎年度
女性の採用試験受験率	比率	34.9%	50%
目標指標⑧		令和2年度	令和7年度
管理職における女性比率	比率	18.0%	30%
(参考目標)係長以上における女性比率		29.2%	35%
(参考目標)部長職の女性比率		5.3%	14%以上
(参考目標)課長職の女性比率		9.6%	22%以上
(参考目標)課長補佐職の女性比率		27.9%	33%以上
(参考目標)係長職の女性比率		39.6%	40%以上
目標指標⑨		令和元年度	令和7年度
宿泊等を伴う研修への女性職員参加率	比率	25.0%	30%

6 主な策定内容

(1) 年次休暇の取得促進のための環境づくり

- ・全職員を対象とした研修等の実施による意識啓発や年次休暇計画表のひな型の作成・周知
- ・年次休暇計画表の活用等による年次休暇の取得促進や、職場の雰囲気づくり
- ・すべての職員が「お互いさま」と言い合えるよう、職場全体でサポート

(2) 業務改革等の推進

- ・ICTの活用や、電子化ペーパーレス化の推進による業務時間の短縮
- ・式典や行事、その他の現行業務について業務のスリム化

(3) 勤務時間管理の徹底

- ・職員の時間管理能力の向上についての意識啓発
- ・時間外勤務等の状況も踏まえた人員配置
- ・時間外勤務が特定の職員に偏らないよう職場全体での業務執行や部内異動等による調整の実施

(4) テレワーク・時差出勤等の検討

- ・テレワーク、時差出勤等の導入に向けた検討

(5) 育児休業等を取得しやすい環境の整備・男性職員の育児休業・部分休業の取得の促進

- ・固定的な性別役割分担意識を生じさせないよう意識啓発
- ・男性の育児に関する休暇計画表の作成
- ・職員が育児休業等を取得した場合の常勤職員の代替を含め必要な検討

(6) 不妊治療を受けやすい職場環境の醸成等

- ・休暇その他の利用可能な制度の周知、管理職に対する意識啓発

(7) 介護に関する制度の活用促進

- ・仕事と子育てガイドブックの改訂等による制度周知

(8) 女性職員の計画的な人材育成と登用

- ・女性管理職を招いての懇談会や研修の実施